

Think



&



Share

SETAGAYA GAKUEN

Guidebook2021

from Vision to Reality

from Respect for Each to Respect for All



世田谷学園 中学校
高等学校
SETAGAYA GAKUEN SCHOOL



世田谷学園がめざす人間像

SETAGAYA GAKUEN Junior & Senior High School

私たちが目指す人間像とは、
自らの智慧と足でたくましく人生を歩み続け、
多くの人たちと共により良い未来を創造していく人です。
それを私達は、智慧の人、慈悲の人、勇気の人と名付けました。

- <智慧の人> 自立心にあふれ、知性を高めていく人
- <慈悲の人> 喜びを、多くの人と分かち合える人
- <勇気の人> 地球的視野に立って、積極的に行動する人

変化が激しく混沌とした世界の将来を展望しつつ、
私たちは、グローバルリーダーとして
活躍できる人材を育てます。

Vision1
自立心にあふれ、
知性を高めていく人
明日をみつめて、今をひたすらに
P.3

Vision2
喜びを、多くの人と
分かち合える人
思いやりの心をもつ
P.10

Vision3
地球的視野に立って、
積極的に行動する人
違いを認め合う
P.15

■ 世田谷学園の教育理念

“Think & Share”

「天上天下唯我独尊」
(てんじょうてんげゆいがどくそん)

History

文 禄 元年 (1592)	江戸神田台(後に本郷駒込)に曹洞宗吉祥寺の学寮(後に“旃檀林”)として創始	昭 和 50年 (1975)	カウンセリングルーム開設
明 治 9年 (1876)	“曹洞宗専門学校支校”となる	昭 和 56年 (1981)	創立80周年 修道館(総合体育館)竣工
明 治 35年 (1902)	“曹洞宗第一中学校林”と改称 私立学校令に準拠し、この年を創立の年とする 校章等制定	昭 和 58年 (1983)	校名を“世田谷学園中学校・世田谷学園高等学校”と改称 カナダとの国際交流開始
大 正 2年 (1913)	現在地に移転	昭 和 61年 (1986)	服制改定 放光館(科学館)竣工
大 正 3年 (1914)	地元一般子弟に入学許可開始	平 成 5年 (1993)	硬式野球部・甲子園初出場
大 正 13年 (1924)	校名を“世田谷中学”と改称	平 成 7年 (1995)	中高6年完全一貫開始
昭 和 10年 (1935)	校歌制定	平 成 8年 (1996)	ニュージーランドとの国際交流開始
昭 和 15年 (1940)	“財団法人世田谷中学”設立	平 成 10年 (1998)	中高6年完全一貫完成
昭 和 22年 (1947)	新制“世田谷中学校”開設	平 成 13年 (2001)	創立100周年 新校舎竣工
昭 和 23年 (1948)	新制“世田谷高等学校”(普通科)開設	平 成 21年 (2009)	家庭科教室の設置
昭 和 26年 (1951)	設立者を“学校法人世田谷学園”に変更	平 成 26年 (2014)	修道館・放光館リニューアル
		平 成 29年 (2017)	校内Wi-Fi環境整備

■ 世田谷学園のモットー

「明日をみつめて、今をひたすらに」
from Vision to Reality

「違いを認め合って、思いやりの心を」
from Respect for Each to Respect for All

世田谷学園がめざす人間像 2
自立心にあふれ、知性を高めていく人 3
喜びを、多くの人と分かち合える人 10
地球的視野に立って、積極的に行動する人 15
スクール・ライフ 19
OBインタビュー 21
施設・設備 23
合格実績・入試概要 25

Vision 1

自立心にあふれ、 知性を高めていく人

世田谷学園の中高6年間は大きく3つの時期に分けられます。小学校から進学したばかりの中学1年生から2年生までの2年間は[前期]とし、温かい目の行き届いた指導によって心身ともに健全な成長の基盤を築きます。

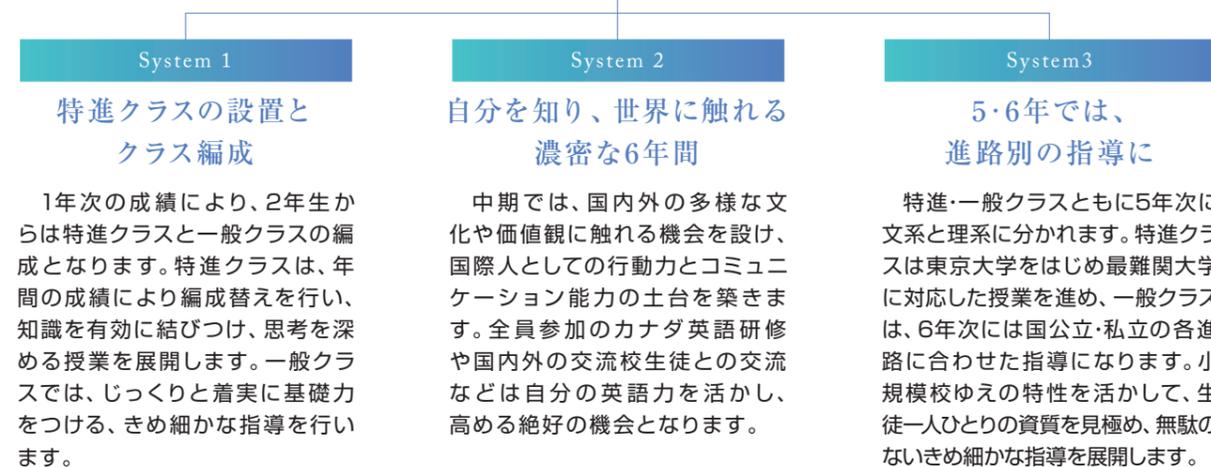
中学3年生と高校1年生は[中期]にとらえ、さまざまな体験を通して、興味や関心の幅を広げ、豊かな知性と個性を培います。

そして高校2年生と高校3年生の[後期]は、自らの将来を見据えた目標とする進路に向け、より高い学力の育成に邁進します。



6年間の教育システム

6-year education system



■コース別カリキュラムの特色

1st.STEP 前期		2nd.STEP 中期		3rd.STEP 後期	
1年生 (中学1年)	2年生 (中学2年)	3年生 (中学3年)	4年生 (高校1年)	5年生 (高校2年)	6年生 (高校3年)
一般クラス	一般クラス	一般クラス	一般クラス	一般文系クラス	国公立文系
				一般理系クラス	私立文系
	特進クラス	特進クラス	特進クラス	特進クラス(文・理)	特進クラス(文・理)

※6年生のクラス編成は、年度により異なります。

■高校2年までに高等学校課程を修了

大学受験を見据えて2年生から生徒の学力到達度に応じた指導を行い、3年生からは高等学校の課程に入ります。特に英語、数学、国語では、5年生(高校2年)までに同課程をほぼ習得させ、最後の1年は大学現役合格に向けて、徹底的な演習により高い学力を養成します。

■6年間の主な取り組み(2019年度のもの)

	前期		中期		後期	
	1年生(中学1年)	2年生(中学2年)	3年生(中学3年)	4年生(高校1年)	5年生(高校2年)	6年生(高校3年)
進路指導	定期試験 学力推移調査 中学総合学力調査	定期試験 学力推移調査 中学総合学力調査 GTEC	定期試験 学力推移調査 中学総合学力調査 GTEC	定期試験 進研模試 駿台模試 河合塾模試 文理選択希望調査	定期試験 進研模試 駿台模試 河合塾模試 進路希望調査	定期試験 駿台模試 河合塾模試
研修行事	オリエンテーション サマースクール 社会科探検会 理科自然観察会 總持寺参拝	遠足(八景島シーパラダイス) 永平寺一泊参拝 ニュージーランド研修 社会科探検会	修学旅行(沖縄)	カナダ英語研修 ニュージーランド 派遣留学	獅子児祭・体育祭の運営	總持寺一泊参拝

1st.STEP 前期(1・2年)

心と体の両面から基礎を固める時期。「明日」、つまり理想とする将来の自分の姿を思い描き、その実現のためにひたすら「今、ここ」に打ち込む姿勢を確立します。楽しみながら学習する習慣を身につけ、毎日を豊かにいきいきと過ごすためにクラブ活動を奨励しています。自己を磨くことの素晴らしさと、仲間とともに活動する楽しさを通じて、「自分に厳しく、人に温かい」人格の形成につとめています。



2nd.STEP 中期(3・4年)

知的好奇心が刺激される、人生の中で忘れることができないであろう多くのことを体験するとき。勉強では自分の将来設計に目覚め、進路に合わせた学習が始まります。この時期のモットーは「平常心のレベルを高く」ということ。常に気持ちを高く保つ習慣が、「明日」を実現し、さらに「明日」のレベルを引き上げ、自主的でたくましい人間の創造を可能にするのです。



3rd.STEP 後期(5・6年)

後期は、これまでの体験で培った力や心の強さを持って、志望大学現役合格へと一気に邁進するときです。「どのような価値を光り輝かせるのか」、「どのように21世紀の創造に参加するのか」、「どのような形で地球社会に貢献しようとするのか」……。前・中期の4年間を通じてこれらを探求してきた生徒達は、自らのビジョンを開花させる第一歩として、「やり残さない今」に取り組むのです。



Learning

世田谷学園の授業①

「楽しくなければ授業ではない！」

——学園の先生一人ひとりがモットーとしている言葉です。先生の温かく行き届いた指導のもと、生徒は自らが考え、実践していく能力を身につけていきます。



英語

大学受験に必須の英語力、
国際交流に生きる
コミュニケーション能力を重視

テキストは検定教科書を使用し、1、2年生で中学課程のほぼ全てを学習します。英語検定は3年生修了までに3級以上の取得が目標です。

3年生以降はより高いレベルの教材を使用し、語彙力を高め、読む、書く、聞く、話す力の4技能をさらに伸ばします。また、異文化理解、芸術、文化、思想、政治経済等の時事問題などを扱いながら、豊かで高度な英語表現を身につけると同時に、社会性と国際感覚を磨きます。4年生の12月までに英語検定準2級以上の取得が目標です。

5年生では英語で文章を書く力を実践的に磨き上げます。6年生では読解力、表現力、語彙力の一層のアップと並行し、国公立二次、私大一般入試に向け、難関大学入試問題の演習を徹底的に行い、余裕と自信を持って受験に臨めるように指導します。



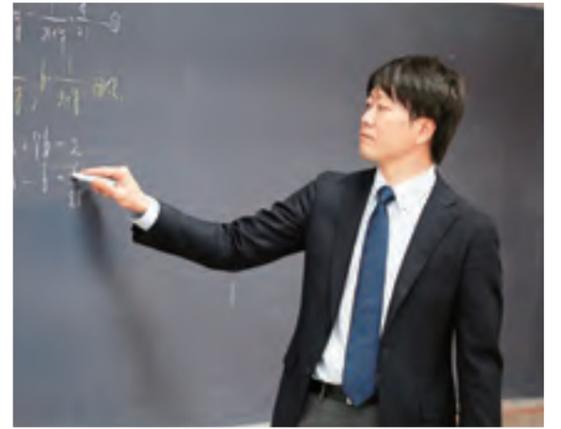
数学

高度な論理的思考力と
推理力を身につけてこそ、
真の数学の面白さを実感

1、2年生の間に中学課程のほぼ全内容を代数・幾何の分野に分けて学習します。日常生活における数学の関りなどを通して、数学の良さや楽しさを実感し、基本的な知識や計算力を養います。

3年生から4年生までの時期は、より論理的な内容になり、高度な思考力と表現力が要求されます。この段階は、理解の定着だけでなく、大学受験を意識したテストを実施し、解答・答案作成の要領を習得し、また、本当の数学の面白さがわかるような指導を行います。

5年生の後半からは今までに培ってきた力を土台にして、難関大学合格を目標にしたオリジナルテキストによって、解法のテクニック・答案作成を含めた総仕上げをします。また、課外講習・外部テストを利用し、生徒個々の希望進路やレベルに対応する指導を行います。



国語

正確に内容を読み解く力、
自分の考えを豊かに表現できる
言葉の活用力を習得

1年生では、国語表現活動としてレポート作成をし、2年生では、読解・表現に必要な言語基礎力を養成します。また、文芸的文章・論理的文章の読書指導や自分の考えを正確に伝えるための作文指導も行い、多くの文芸作品に触れ、感性を深めます。2年生の古文・漢文では、日本文化の特質や日本に影響を与えた中国の思想などを学びます。

3年生以降は、言語基礎力の練度をさらに高めていきます。現代文では抽象度の高い評論文や心理・情景描写の正確な読解力を必要とする近現代の小説などを扱います。

6年生では大学入試に対応した演習主体の指導を行います。本学園オリジナルテキストを用いて現代文・古文・漢文ともに前期・中期に培った読解力・表現力を整理し、総合力を身につけます。



Learning

世田谷学園の授業②

自然観察会、獅子児祭でのサイエンスフェアの発表など、世田谷学園には、生徒の知的好奇心が刺激されるアクティブで深い学びがあります。



地歴 / 公民

社会的事象にたえず関心を向け、多角的に考える姿勢と発表能力を養成

中学では、従来の地理・歴史・公民という単元ごとの学習ではなく、「総合社会」によって社会的事象への興味・関心をより高めていくことを目標としています。授業を通じて伸ばしたい学力は、基礎学力のみならず、「思考力・判断力・表現力」の3つの力です。科目融合型、問題発見・解決型、アクティブラーニングなどの授業を通じて深い学びにつなげ、伸ばしたい学力を育成していきます。

4年生では現代社会を学習し、各地域の関連性や民族・地域の諸問題とその背景を理解し、国際社会を多角的に考察する資質を育てます。5年生では、世界史や地理、日本史の選択授業を実施します。6年生では、トップレベルの大学入試に対応するため、密度の濃い講義による問題演習を徹底に行います。



理科

実験や観察を重視し、発見する喜びや科学に対する興味が呼び覚まされる授業

発見することの喜びや科学に対する興味を喚起するよう、実験や観察を中心とした授業を展開します。特に観察会などを通して、自然にじかに触れ、素直にみつめることを大切にしています。

3年生で物理、化学、生物、それぞれの分野について、高校の初歩的な内容を学び、学年が進むにつれ、進路に応じた選択履修により専門性を高めていきます。

高校は夢の実現のための力をつける仕上げの段階です。今まで培ってきた科学的思考力に磨きをかけます。また、国公立二次、私立理系など、生徒の希望進路に応じた演習を徹底的に行い、標準問題を確実にこなせる力をつけ、記述問題や高度な応用問題に対応できる能力の養成を目指します。



Extra Lesson

授業外の講習

補習からハイレベルな内容まで、学年に応じた講習で、一人ひとりに目の行き届いたフォローをしています。



生徒の学習到達度やそのときに抱えている課題は一人ひとり異なります。そこで、正課の授業の他に、放課後や長期休暇期間を利用して特別な講習を設けています。日頃の授業やテストでまだ身につけていない分野の補習から、目指す大学へのハイレベルな講習まで、学年に応じて講座を用意しています。



	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
特別演習 ●英・数・国のハイレベル講習【放課後】	-	○	○	○	-	-
大学受験講習 ●英・数・国・地歴公民・理科の受験対策講習【放課後】	-	-	-	-	○	○
ステップアップ講習(補習) ●英・数・国の補習【放課後】	○	○	○	○	○	-
夏期講習 ●英・数・国の基礎～応用講習【夏期休暇】	○	○	○	○	-	-
夏期集中講習 ●英・数・国・地歴公民・理科の受験対策講習【夏期休暇】	-	-	-	-	○	○

上記講習の他に、教科活動への興味の深化や、教科の枠を越える問題解決能力の育成を目的とした教養講習を設置しております。

教養講座・探究講座(2019年度の例)

教養講座		
1学年	横浜クエスト	夏期休暇～2学期
	SGSサイエンスプログラム	夏期休暇・冬期休暇
	難関理系大学生と学ぶ数学的思考法	夏期休暇
2学年	横浜クエスト	夏期休暇～2学期
	創作講座	通年
	プログラミング超入門	3学期
	SGS red bull box cart プロジェクト(仮)	1学期～夏期休暇
探究講座		
3学年	IT×グローバルゼミ	夏期休暇
	創作講座	通年
	プログラミング超入門	3学期
	「医療者をめざす君たちへ」	2学期
	SGS red bull box cart プロジェクト(仮)	1学期～夏期休暇
4学年	IT×グローバルゼミ	夏期休暇
	クエストエデュケーション「企業探究コース」	1～2学期
	創作講座	通年
	「医療者をめざす君たちへ」	2学期
	SGS red bull box cart プロジェクト(仮)	1学期～夏期休暇
5学年	IT×グローバルゼミ	夏期休暇
	クエストエデュケーション「企業探究コース」	1～2学期
	「医療者をめざす君たちへ」	2学期
	SGS red bull box cart プロジェクト(仮)	1学期～夏期休暇

Topics 授業計画

生徒が中・長期的な目標を立てたり、日々の予習・復習の計画を立てたりするための道筋を示し、自学自習の助けとします。学園のホームページからいつでも閲覧でき、学習の取り組み方、内容、重要度、進捗など、教科ごとに理解できるようにしています。



●SGSサイエンスプログラム(理数プログラム)

昨年度の「SGSサイエンスプログラム」は、コマ博士から学ぶ物理学というテーマで実施しました。基本的な知識を暗記するだけでなくとどまらず、自ら問いや仮説を立てて真実を探究していく、問題を解決していきます。

●クエストエデュケーション「企業探究コース」

「クエストエデュケーション」は、(株)教育と探求社の提供する教育プログラムで、生徒はHIS、大正製薬、テレビ東京などの企業にインターンとして参加し、企業からのミッションに応える形でビジネスプランを考案していきます。2019年度は(株)メニコンのインターンに参加した生徒が優秀賞を受賞し、全国大会でプレゼンテーションを披露しました。

Vision 2

喜びを、多くの人と分かち合える人

積極的に行事に参加することやクラブ活動に打ち込むことは、生徒達の成長にとっては欠かせないものです。

仲間と共に味わった達成感、成功体験が、グローバルリーダーとして社会で活躍するための心の素地をつくります。



チームでの活動で喜びを分かち合う

Teamwork

各学年の活動やクラブ活動、そして有志による発表をする機会である獅子児祭(学園祭)は、実行委員が中心となり、全校生徒が一丸となって取り組む伝統のイベント。去年より今年、今年より来年と、年々より良いものにしようという生徒達の熱意が、最高のパフォーマンスとなって表れます。



獅子児祭

体育祭

1年生から6年生が5色の縦割りの組に分かれ、優勝を目指し、様々な競技で白熱した戦いを繰り広げます。生徒の自主的な運営で行われる、獅子児祭と並ぶ学園の一大イベントです。



Learning

世田谷学園の授業③

単に知識や技能を伝えることだけが授業ではありません。自分らしさを表現したり仲間と一緒に取り組む喜びを大切にします。



芸術

単なる技術を超えて、自己と向き合い表現すること、他者と協力し創造する楽しさを学ぶ

1~3年生は、音楽と美術が必修、4、5年生は、音楽・美術・書道の選択です。音楽では、合唱コンクールにも取り組み、互いの弱点をカバーし合うことなど多くのことを学びます。高校では電子楽器にも触れ、ドイツ・イタリア歌曲を原語で歌う他、鑑賞批評・自己表現の能力を上げます。「美術作品は制作者自身を写す鏡」、美術は、制作する過程を大事にし、技術だけでなく自己と向き合う時間を大切にします。また、一眼レフカメラ、iPad、MacBookなどICT機器を活用した制作にも挑戦し、建築家やデザイナーにも必要な感覚を養います。書道は、長い伝統に基づいた表現方法(筆法)で「自己」を表現し探究するもの。基礎から草書・隷書・篆書などの応用へと発展させます。



Topics 芸術鑑賞 (各学年で実施)

- 2020年度予定
- 1年 美術鑑賞(東京国立博物館)
- 2年 日本伝統芸術鑑賞 寄席(国立演芸場)
- 3年 演劇鑑賞 劇団銅鑼『いのちの花』
- 4年 ミュージカル鑑賞 ホリプロ『ピリー・エリオット〜リトル・ダンサー』
- 5年 オーケストラ鑑賞(新日本フィル)チャイコフスキー『交響曲第5番』など
- 6年 オペラ鑑賞(新国立劇場)團伊玖磨『夕鶴』



体育

伸び伸び楽しく心と身体の健全な発達を促す、充実した体育施設と実技指導

通年使用の室内温水プール、柔道・剣道・空手道専用の武道場、体育館など、充実した体育施設を活用し、6年間を通じて、個人競技や集団競技など、心と身体の発達に応じた授業が行われます。定期的に自分の能力を正確に把握するスポーツテストを実施します。集団の球技などでは、基礎的な技能だけでなくルールを理解し協力し合いながらゲームに活かす能力も身につけます。剣道は2年生、柔道は5年生で行い、礼法や姿勢、受け身などの基本動作から始め、技の習得、ルールの理解、安全な技の攻防などを試合に活用できるレベルにしていきます。保健では、健康な生活と病気の予防や交通安全教育など、生徒の発達段階に応じ、将来にわたって健全な社会生活を送れるよう学習を深めます。



生き方

なぜ生きるのか。なぜ学ぶのか。自分や社会を取りまくものに思いを馳せながら、自らの可能性を探究します

「自分って何だろう」「なぜ学ぶのだろう」「どのように生きていったらいいのだろうか」。そんなことを真剣に考えたことがあるでしょうか。自分をみつめ、自分と対話する。そこから生まれてくるものこそが、かけがえのない自分自身とのふれあいです。そして、それを自分や社会を取りまくさまざまなものの姿をさぐることによって、明らかにしていこうとするのが「生き方」という授業です。また、仏教禅を拠り所とする学校ならではの坐禅の授業では、姿勢を整え、呼吸を整え、そして心を整えて、「自分をみつめる時間」を大切にします。



Club Activities

クラブ活動

豊かな人間性を育てるためには、友達と一緒に活動し、感動を共有することも必要です。世田谷学園では「Think & Share」の精神のもと、十分なクラブ活動ができる環境を整えており、現在は生徒の80%以上が何らかのクラブに参加。好きなことに打ち込めるからこそ、勉強にも集中できるのです。



英語部



映画研究同好会



政治経済研究部



鉄道研究同好会



生物部



仏教青年会



マジック同好会



美術部



吹奏楽部



空手道部



陸上競技部



サッカー部



柔道部



水泳部



ソフトテニス部



軟式野球部



バレーボール部



剣道部



卓球部



硬式テニス部



バスケットボール部



化学部



パソコン研究同好会



歴史部



物理部

その他のクラブ

- | | | | |
|-------|-----|----------|----------------|
| 演劇部 | 書道部 | 弁論部 | 新聞同好会 |
| 硬式野球部 | 地理部 | 囲碁・将棋同好会 | L.S.C |
| 写真部 | 文芸部 | 軽音楽同好会 | (ランタイムスポーツ同好会) |

Vision 3

地球的視野に立って、積極的に行動する人

グローバルな人材には、「地球的視野を持ち、地球規模の問題に取り組む」姿勢が大切です。そのためには、異なる文化や考え方の違いを理解し、世界の多くの人達とコミュニケーションがとれる能力を身につけなければなりません。世田谷学園では、グローバルなコミュニケーション能力の育成を重視しています。

グローバル人材の育成

Global education



SETAGAYA GAKUEN_Vision 3

国外でのプログラム

Canada

[4年生・全員参加]

カナダ英語研修(約10日間)

カナダのブリティッシュ・コロンビア州にあるグレンライオン・ノーフォーク校(GNS)は、1985年から30年以上にわたり本学園と姉妹校として交流を続けています。4年生全員が参加するカナダ英語研修は、このGNSでの約10日間の英語学習を中心とした留学体験です。本学園用に構成された授業と同校の多くの現役高校生や卒業生との交流を通じて、ビクトリア大学での寮生活やホームステイを体験しながら、カナダの生活や文化などについて英語で学びます。ディベートなど発言や発表の機会が多いGNSでの授業は、生徒たちのリスニング能力、スピーキング能力を高めます。



New Zealand

[4年生・希望者]

ニュージーランド派遣留学(約3ヶ月)

4年生の希望者(6名~12名)は、3学期から5年生の1学期にかけて、ニュージーランドのダーフィールド・ハイ・スクール(DHS)に留学することができます。この留学は交換留学と違い、こちらからの派遣であるため、現地校で毎年受け入れてくださるプログラムになります。ホームステイをしながら、DHSの一般授業を現地の生徒と一緒に受講し、ホームステイなどを体験します。



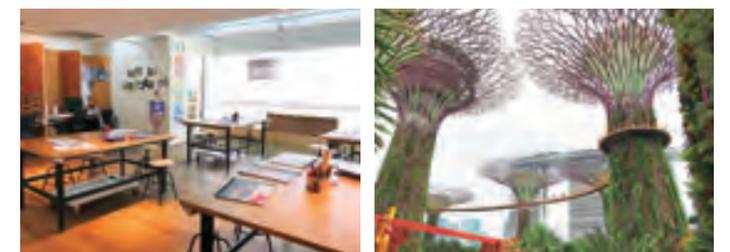
NZマオリ式の挨拶

Singapore

[3年生・希望者]

シンガポール文化研修(約5日間)

3年生の希望者(20名)は、多民族国家であるシンガポールであらゆる文化に接します。インド人街・アラブ人街・中華街などを見学し、多民族が共に暮らす大切さを体感します。また、世界最高レベルの浄水技術を持つ施設の見学や古代思想の風水に則った街づくりに触れることで、未来の文明を考える機会にもなります。さらに、アジア最高峰の高等教育機関であるシンガポール国立大学の現役大学生やインターナショナルスクールとの交流も経験します。



国内でのプログラム

ダライ・ラマ法王の来校

生徒の心に響く、
互いを重んじることの大切さ

ダライ・ラマ法王第14世は、これまでに3回本校を訪問されています。学園のモットーである「明日をみつめて、今をひたすらに」「違いを認め合って、思いやりの心を」をテーマに全校生徒を前に講演をされました。法王に質問しようと長い列ができるほど生徒達の関心も高く、法王も生徒一人ひとりに声をかけ笑顔で接しておられました。



SGS BST [3年生対象]



多国籍の生徒・児童が通うブリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ(BST)は、昭和女子大学キャンパス内にあるイギリスの義務教育課程の学校です。世田谷学園では、同校との交換交流を行っています。同校に一歩足を踏み入れるとそこはイギリスの学校と同じ環境。世田谷学園の生徒も一緒にさまざまな授業を受けることができます。“英語を学ぶ”のではなく、“英語で学ぶ”貴重な体験です。



SGS Empowerment [5年生対象]



BSTの生徒を対象とした柔道の授業を本学園にて実施しています。



米国一流大学の現役学生と英語でディスカッションします。



世田谷学園のグローバル教育系プログラムは、多岐にわたります！

学年	プログラム名	内容	対象	時期
1	SGS-ICE (Intensive Course on English speaking)	外国人講師1名×生徒8名。 少人数制の集中英会話講習。	希望者 (120名前後)	12月 (1日半)
2	ニュージーランド研修旅行	ホームステイ先から現地の交流校へ 通学する異文化体験。	希望者 (20名)	3月 (10日間)
	SGS-NZ prep (ニュージーランド準備講習)	上記のホームステイ英会話と現地の 文化・生活を学ぶ講習。	上記参加者	3月 (1日間)
3	シンガポール文化研修	アジアの文化・歴史を知る。 現地の大学生や中学生と交流。	希望者 (20名)	3月 (5日間)
	SGS-SIN prep (シンガポール準備講習)	上記に向けて現地の英語発音に 慣れるための事前学習。	上記参加者	3月 (1日間)
	SGS-BST①【BST生が来校】 (British School in Tokyo交換交流)	インターナショナルスクールの生徒が 本校の授業に参加。	全クラス	6月 (3～5日間)
4 (高1)	SGS-BST②【本校生が訪問】 (British School in Tokyo交換交流)	上記スクールに本校生が通学する “国内ミニ交換留学”的な体験。	希望者 (5名前後)	3月 (3～5日間)
	カナダ英語研修 (ビクトリアの姉妹校に通学する研修旅行)	30年以上の姉妹関係にある現地校が本 校生のために特別英語授業を開講。滞 在中はホームステイと大学の寮生活を体験 する。	全員参加	7～8月 (11日間)
	SGS-CAN prep (カナダ準備講習)	外国人講師1名×生徒8名。 ホームステイ英会話と 現地の文化・生活を学ぶ講習。	全員参加	7月 (1日間)
5 (高2)	ニュージーランド派遣留学	2年生でも交流している現地校に留学。 滞在先はホームステイ。	希望者 (12名程度)	1月～ (3ヶ月)
	SGS-Empowerment (米国の大学生とのディスカッション講習)	ハーバード、スタンフォード、UCバーク レー等の米国一流大学の現役大学生ま たは大学院生1名×本校生5名によるディ スカッション講習。環境汚染、児童労働、 教育、福祉などを英語で議論する。	希望者 (15名程度)	8月 (4日間)

いきいきとした学びを育むICT環境

本学園では入学後、一人一台のiPadを持ちます。全教室にWi-Fi環境とプロジェクターが設置されており、様々な場面でICTが活用されています。

学校での授業だけでなく、ホームルームや部活動の連絡、また家庭学習でも使用します。



デバイス活用能力の向上

21世紀ではデジタルデバイスを活用できる能力が求められています。日々の生活で使用していくことで、自分にとって有効な活用方法を身に付けていきます。



メディアリテラシー教育

講演会や日々の使い方を通じてメディアリテラシーや情報モラルについて学びます。社会におけるコミュニケーション力やコラボレーション力を高めます。



多様な学習形態への対応

デバイスを導入したことで「アクティブラーニング」「問題発見・解決型学習」「教科横断学習」などを効果的に行うことが可能になり、自主自立的な学習習慣の向上につながっています。



School Life 学園の1年 (2019年度のものです)

※一部変更の可能性があります。

世田谷学園では生徒が主体的に参加するさまざまなイベントが年間を通じて数多くあります。集団で活動する行事に参加することは、協調性や自主性、さらに何かに一生懸命打ち込むことの素晴らしさを感じる良いチャンスです。このような体験は、きっと生徒が主体的に行動する姿勢を作ります。 ※年度により、多少の日程の変更があります。 ※各学年で芸術鑑賞を実施しています。



■獅子児・成人の集い開催
成人式を迎えた卒業生を母校に招き、恩師、同級生とともに旧交をあたためます。

- | | | |
|---|--|--|
| <p>4 APRIL</p> <ul style="list-style-type: none"> ●入学式 ●積尊降誕会(花まつり) ●1年オリエンテーション合宿 ●2年遠足 | <p>5 MAY</p> <ul style="list-style-type: none"> ●6年進学研修会 ●体育祭 | <p>6 JUNE</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1年自然観察会(希望者) ●6年総持寺一泊参禅 ●3・4・5年進学研修会 ●3年SGS-BST
(ブリティッシュ・スクールの生徒さんが授業に参加) |
| <p>7 JULY</p> <ul style="list-style-type: none"> ●精霊祭 ●1年サマースクール ●4年カナダ英語研修 ●夏期集中講習(5・6年)(希望者) | <p>8 AUGUST</p> <ul style="list-style-type: none"> ●クラブ合宿 ●夏期講習(1~4年)(希望者) ●5年SGS-Empowerment(希望者) | <p>9 SEPTEMBER</p> <ul style="list-style-type: none"> ●獅子児祭 |
| <p>10 OCTOBER</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1年総持寺参拝 | <p>11 NOVEMBER</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2年永平寺研修旅行 ●3年沖縄修学旅行 ●創立記念日 ●創立記念弁論大会 | <p>12 DECEMBER</p> <ul style="list-style-type: none"> ●臘八摂心(希望者)・成道会 ●1年SGS-ICE(希望者) |
| <p>1 JANUARY</p> <ul style="list-style-type: none"> ●4年ニュージーランド派遣留学(希望者) ●中学・高校願書受付開始 | <p>2 FEBRUARY</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中学・高校入試 ●SETA学会 | <p>3 MARCH</p> <ul style="list-style-type: none"> ●卒業式 ●修了式 ●2年ニュージーランド研修旅行(希望者) ●1~3年ステップアップ講習 ●3年SGS-BST
(ブリティッシュ・スクールの授業に参加:希望者) ●3年シンガポール文化研修(希望者) |



■SETA学会
SETA(Science, Engineering, Technology, Art)学会は、全学年合同で、文化部の発表や講演、個人での研究活動を報告しあうイベントです。質疑応答の時間も設け、大学の学会さながらの運営・進行が行われます。



■創立記念弁論大会
各クラスから一人ずつ弁士を立て、学年予選後に全校生徒の前で5分ほど弁論し、得点を競う大会です。



■1年サマースクール
◎長野・黒姫高原:2泊3日
雄大な自然を舞台に、団体行動の大切さを認識し、カヤックやマウンテンバイクを楽しみながら自然の素晴らしさや豊かさを学びます。



■臘八摂心(ろうはつせっしん)
◎修道館アリーナ:12月1~8日
お釈迦様が悟りを開かれたことを偲び、早朝坐禅会を行っています。有志の生徒と教員によって始められた伝統ある行事で、例年500名ほどが参加しています。



■3年沖縄修学旅行
◎4泊5日
沖縄の歴史、文化を学び、平和な社会のあり方を考えます。



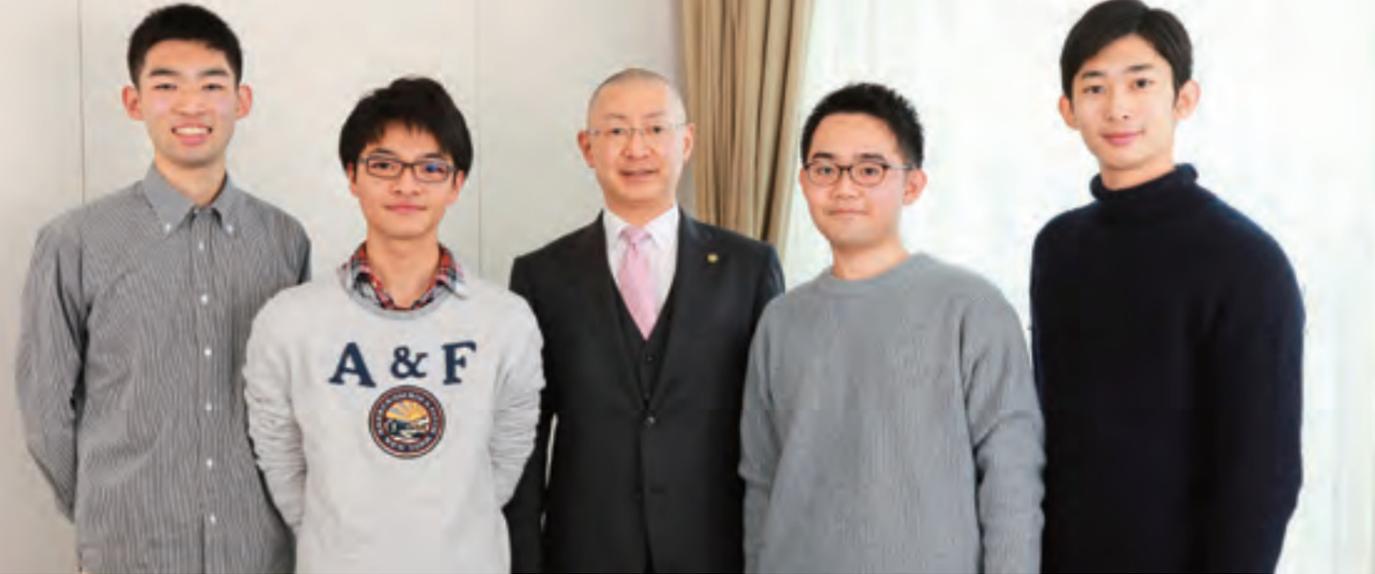
■3年SGS-BST
インターナショナルスクールのブリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ校と毎年数名ずつの交換交流を行っています。

OB Interview 座談会

世田谷学園を卒業して2年。成人を迎えるOBに集ってもらい、学園での思い出から学びの成果、現在の状況から将来の展望まで、山本慈訓校長を囲んで存分に語ってもらいました。

写真左から

石清水隆人君 順天堂大学医学部	高井涼史君 慶應義塾大学総合政策学部	山本慈訓 学校長
上野正人君 東京大学理科一類	湯浅翔平君 慶應義塾大学法学部	



日々の生活に役立つ 曹洞宗の教え

校長: 皆さん世田谷学園で6年間、仏教禅に慣れ親しんでみてどうでした？

湯浅: 僕は今予備校でアルバイトをしていますが、「教育」には教える面と育てる面のふたつがあると思うんです。言い換えれば学力と心の指導で、仏教禅とは心の指導。人格形成や道徳教育の一環だと考えています。「生き方」の授業で習った椅子坐禅は、今でも勝負事の前には実践しています。

上野: 僕は世田谷学園が仏教校ということで、入学前から興味を持っていました。学校のホームページを見ているいろいろな行事があって楽しそうで、実際に入学したら仏教のいろいろなことが学べて。僕も試験の前に椅子坐禅をやりましたね。

高井: 僕の母親が学校説明会に参加して、校門の前でお辞儀をする文化があることを知って、そのことをとても気に入っていました。曹洞宗の教えは日常生活で生きてくるんですね。たとえば、トイレのスリッパの向きをそろえとか、勉強する前には机を掃除するとか、食事のときは食べることに集中するとか。校門の前での礼もそうだけど、規則正しい日常生活にはとても役立っています。

校長: 当たり前のことを当たり前にする、というのが仏教・禅の特徴でもあるからね。「眼横鼻直(がんのうびちやく)」という言葉があるけれど、これは眼は横、鼻は縦についているという当たり前のことを言っているんですね。でも、当たり前のことを当たり前に行き続けることは意外と難しいんです。

石清水: 椅子に座った状態でも姿勢を正して心を落ち着かせて坐禅をすることで、勉強や試験のときに集中して取り組むことが以前よりもできるようになったなと感じています。僕と上野君は、12月に行われる「臘八撰心(ろうはつせんしん)」という早朝の坐禅会に自発的に参加していたので、心と頭を整理するのは得意なんじゃないかなと思います。

校長: 坐禅のポイントは「調身」、「調息」、「調心」の3つです。それ

ぞれ、身体と呼吸と心を調えるということですね(坐禅をしていると、ゲームがしたいとか、宿題が面倒だとか、あれが食べたいとか、自分がどんなことに囚われているのか見えてきます)。頭に思い浮かんでくる雑念を追わない、聞こえてくる音は聞こえてくるままに、痛いときも意識すると必要以上に痛みが来るから、痛みもそのままに。自分が囚われていることを客観的に見つめることができます。坐禅をした後は多くの生徒がスッキリしたと答えてくれますが、皆さんはどうでしたか？

一同: 坐禅後はスッキリしますね。

校長: ああ、よかった(笑)。

部活も海外研修も 毎日の学園生活も良い思い出

校長: では、皆さんが6年間の学園生活で印象に残っている出来事を教えてください。

湯浅: 獅子児祭は自分にとって一番大きなイベントでしたね。

校長: 湯浅君は実行委員長だったからね。私も見ていたけれど、本当に大変だったと思います。

湯浅: 葛藤もあったけれど、獅子児祭を成功に導けたのが嬉しかったです。企画の段階から、予算の管理も含めて、かなりの裁量を学校からいただき、実務における能力を学び、心の持ちよりの訓練にもなりました。皆で自発的に意見を出し合って、先生からの承諾を得る。自由にできたおかげで、ジェットコースターを実現することができました。

校長: 教室にジェットコースターを置くというアイデアはすごかったよね。みんなやる気があって、私も制作途中から気になっていた。「エネルギー保存則はちゃんと考えてるの?」と聞いたら、「そんなことはわかってます」と言われたんだから(笑)。設計が安全かどうかは専門の業者さんにチェックしてもらってね。湯浅君のおかげで、ジェットコースターは今でも毎年大人気です。

湯浅: 僕たちのときに作ったのは室内で90°に曲がって進むジェツ

トコースターでしたが、それだけにスムーズな動きをさせるのにとっても苦労しました。でも今、獅子児祭の目玉企画にまで成長して嬉しく思います。

高井: いろいろ考えたんですけど、僕が一番面白かったのは毎日の昼休みかな。毎日サッカーをしていました。湯浅君も参加してたよね。昼休みの開始と同時に外に出て行って、弁当を食べるのも忘れるくらい(笑)。

石清水: 僕はサッカー部の思い出ですね。部活のチームメイトと寒い時期に朝練したり苦労も多かったけれど、いっしょに長い時間を過ごした仲間とは今でも定期的集まっています。この前は先輩がフットサルのコートを用意してくれて、「先輩たち来てください」と誘われて。上下を問わず今でも交流があります。

上野: 思い出深いのは、中2のニュージーランド研修旅行ですね。初めての海外で、自分が今まで知らなかった文化や言語に触れて世界が変わりました。驚いたのは食文化です。ホームステイ先のホストファミリーが昼ご飯を作ってくれるんですが、それがクッキーとかフルーツが主な食事です。米を毎日食べていた日本との食の差を感じました。

校長: ニュージーランドではお昼に必ずスナックとか果物がついてくるんだよね。カナダもそんな感じかな。

上野: そうですね。はじめは衝撃的でしたが(笑)。

高井: 僕もカナダの英語研修でホームステイ先のホストブラザーにクリフジャンプに誘われたことがあって、10メートルくらいの崖から湖まで飛び降りる遊びなんですけれど、当時の僕は英語ができずに、上手く言い訳ができなかったんです。なんとか自分の知りうる限りの英語を使って全力でやりたくないと言えませんが、それが人生で一番英語が喋れた瞬間でした。結局言いくめられて飛ぶ羽目になったんですけど(笑)、そこでコミュニケーションの神髄に出会えたと思います。

石清水: 一度むけたんだ(笑)。

一同: (笑)。

大学に入ってから様々な経験

校長: 行事を通じて主体性や共働性が身につくのはとても大きいよね。皆さんは今大学でなにを学んで、将来はどんな方向に進みたいと考えていますか。

高井: 僕は総合政策学部在籍しています。最初は教育に興味を持っていたんですが、そこから教育を変えるためにはなにができるかと考えて政治に出会いました。政治を学んだら、今度は政治を変える必要があるようになるようになって、今はその手段として、仮想通貨の基盤技術であるブロックチェーンを学んでいます。昨年の夏からは、読書から人の学びを深めることを目的にした「ReadHub(リードハブ)」というアプリの開発に参加しています。このアプリをどうやって改善してよりよいものにしていこうか日々考えていて、そこでいろいろな人に出会えるのが大学のよさですね。読書や学びで日本全体をよくしたいと考えています。

湯浅: 法学部の政治学科に通っていて、比較政治学の研究をしています。今は民主主義が世界的に後退している時期ですが、どんな条件がそろえば民主主義体制が持続するのか、いろんな角度から研究しています。僕はバックパッカーとして多くの国に行ってきたので、将来は世界とかかわる仕事がしたいと考えています。大学院で政治学を専攻して、世界の人権や民主主義の問題に学問からアプローチしたいという思いもあるし、国際機関に就職して裏方として支えたいという思いもあります。

校長: バックパッカーとして、これまでどんな国に行ってきたの？

湯浅: 印象的だったのは東欧のアルバニアですね。地図で言うと

ギリシャの北です。90年代まで鎖国していて、詐欺が蔓延していたというすごい国です。そこで、夜中の2時半くらいにバス停で1人降ろされてしまったときに、カフェの店員に助けられたり、宿の人間と夜通し6時間くらい話しこんだことがあって。そういう国に将来は恩を返したいなと思っています。他にも、ナゴルノ・カラバフ共和国という国も行きました。アゼルバイジャンの西側の地域。

校長: 1人で行ったの？

湯浅: いや、さすがに友だちと行きました。一步踏み切ること、冒険心を学園で学びました。

石清水: 僕はスポーツドクターになりたくて医学部に通っています。この夏にぜんそくのような症状が出てアレルギーの検査をしたら、そば、ごま、キウイ、林檎、ピーナッツのアレルギーが見つかったんです。そこから呼吸器内科の先生と話すうちにアレルギーに興味を持って、僕と同じぜんそくを持っているアスリートの役に立てるようなことができないかと模索中です。

上野: 教養学部には所属していますが、後期の3年からは工学部の物理工学科で学びます。大学受験の段階で物理学に関係するところを志望していましたが、今は物性物理、物の性質を研究する物理学を学んでいます。物質特有な電気の流れ方とか、超伝導の技術だったりですね。自分の肌に合ったテーマなので、これからも研究していきたいです。

卒業生の活躍こそ 世田谷学園の誇り

石清水: みんな話を聞いて思ったのは、急な試練に対しても飛び込んでいく人が多いなということですね。獅子児祭でジェットコースターを作ったり、10メートルの崖から湖に飛び込んだり(笑)。僕もアレルギーが見つかったら、調べるうちに本格的に学んでみようかなと思ったし。起業したという話も多く聞きますね。最初は悪ふざけからスタートしたかもしれないけれど、そこから本気でチャレンジする人が多いなと思います。

校長: チャレンジ精神は教えられて身につくものじゃなくて、自ら発揮することで育っていくもの。そういう意味では体育祭、獅子児祭、カナダとニュージーランドの研修旅行は貴重な機会だね。

上野: この学校で学んだのは、当たり前前のことを当たり前にする姿勢ですね。ご飯を食べるときの「いただきます」と「ごちそうさま」も、意外と忘れがちになってしまうけれど、毎食心がけています。数学の証明や研究では、物事の定義があいまいだと証明も不安定になってしまいます。当たり前前の定義の先には新しい発見があるの、当たり前前をおろそかにしないことは重要だと思います。

湯浅: 世田谷学園は素直で真面目な子が多いという印象です。それこそ、他校とは比較にならないくらい。

校長: そうなんだ！ それは嬉しいね(笑)。

湯浅: みんな進んで学びに行く姿勢がありますよね。自分も好きなことに没頭するために時間は惜しまないタイプなので。自主性と向上心は本当に学べました。

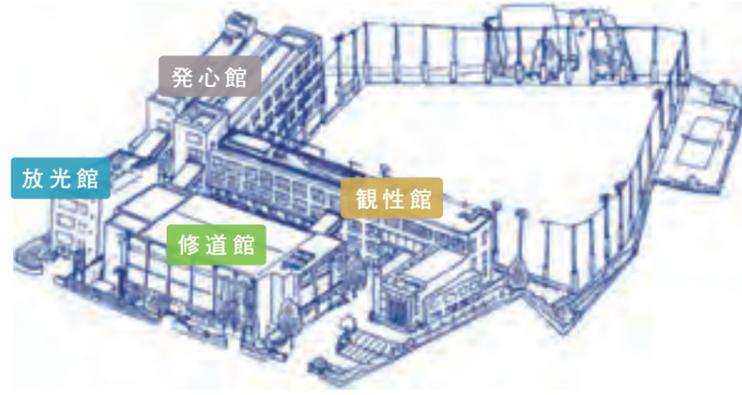
高井: 世田谷学園には「違いを認め合って、思いやりの心を」という教育方針があって、他の個性を否定するのではなく、受け入れた上でどういっしょにやっていくかを考えるんです。仏教の話だけではなくてイスラム教とキリスト教の話はもちろん、仏教以前の歴史も学びました。多様性が当たり前ということを入学当初から学べたことは大きいですね。大学には留学生もいるし、いろいろな人たちと出会えました。

校長: 皆さんの話を聞くとThink&Shareの精神はちゃんと根付いていますね。卒業してますます成長して活躍していることがとても嬉しく思いますし、それが世田谷学園の誇りなんだと思います。

Facilities

施設・設備

世田谷学園は生徒達が勉強やスポーツに打ち込める環境が充実しています。校舎は大きく4つに分けられ、「修道館」「放光館」「発心館」そしてシンボルタワーのある「観性館」とそれぞれに名がついています。そこは生徒一人ひとりの心と体を育み、個性ほとばしる夢を大きく育てるための場所でもあります。



YouTube 360° VR 動画が見られます。

世田谷学園 施設 検索



■ コンピュータールーム



■ 禅堂



■ 図書室



■ 食堂 (全学年利用できます)



■ 美術室



■ 卓球場



■ 観性館 校門の正面、シンボルタワーと、それに連なる建物が観性館。建物の1階には学園の心臓部ともいえる禅堂があります。60人が坐れる本格的なもので、授業をはじめ、有志による早朝坐禅などにも使われています。2階には図書室とコンピュータールームがあります。地下1階には約300席の食堂があります。



■ 修道館 修道館には、体育施設が集められています。体育の授業はもとより全校朝礼やクラブ活動などに使用されるアリーナ、年間を通して利用できる温水プール、武道場、卓球場があります。



■ 室内プール (年間を通して利用できる温水プールです)



■ 修道館アリーナ (体育や全校朝礼などに使用されます)



■ 武道場 (柔道・剣道・空手道場)



■ 視聴覚ホール(約230席)



■ 化学実験室(2F)



■ 化学講義室(2F)



■ 放光館 放光館には約230席のホール、音楽室、各フロアごとに物理・化学・生物に分けられた理科の実験室と講義室があります。



■ 発心館 発心館には、生徒玄関、家庭科室、カウンセリングルーム、保健室、普通教室、選択教室などがあります。



■ 物理実験室(3F)



■ 生物実験室(4F)



■ 保健室



■ 家庭科室



■ カウンセリングルーム



■ 全教室プロジェクター完備

合格実績

国公立・私立問わず難関大学への現役合格率の高さが大きな特徴です。
生徒一人ひとりが夢の実現に向けて踏み出す第一歩としての大学進学。
多くの生徒達が瞳を輝かせて巣立っていくことは私達にとってもこの上ない大きな喜びです。

国立大学		
大学名	総計	現役
東京大学	11	8
一橋大学	8	6
東京工業大学	11	9
小計	30	23
北海道大学	4	3
東北大学	3	2
名古屋大学	2	2
大阪大学	2	2
東京医科歯科大学	1	1
東京海洋大学	2	1
東京農工大学	1	1
電気通信大学	7	4
横浜国立大学	6	5
筑波大学	1	1
埼玉大学	1	0
神戸大学	1	0
小計	31	22
国立大学合計	61	45

公立大学		
大学名	総計	現役
東京都立大学	4	4
横浜市立大学	1	1
金沢美術工芸大学	1	1
小計	6	6

文科省所管外		
大学名	総計	現役
防衛医科大学校	4	4
防衛大学校	4	4
小計	8	8

オープンキャンパスレポート:4年

学部・学科研究、大学のオープンキャンパスへの参加などを経て、最終的に志望校を明確にします。

進学のでびき:5・6年

人は年代によって乗り越えなければならない山があります。中高時代に学力を高め知性を磨き自らの希望する大学に合格することは、大きな山の一つです。生徒が進路を決定し希望する山に登りきる、そのような願いを込めて作成されています。

私立大学		
大学名	総計	現役
早稲田大学	84	73
慶應義塾大学	75	64
上智大学	49	41
小計	208	178
東京理科大学	96	75
国際基督教大学	2	2
明治大学	95	85
青山学院大学	26	23
立教大学	26	23
中央大学	52	39
法政大学	34	30
学習院大学	3	3
小計	334	280
日本大学	38	28
東洋大学	8	6
駒澤大学	22	18
専修大学	4	4
小計	72	56
成蹊大学	6	3
成城大学	7	3
明治学院大学	3	3
國學院大学	6	5
芝浦工業大学	48	42
東京都市大学	15	9
東京電機大学	4	4
東京農業大学	4	2
工学院大学	13	9
神奈川大学	14	14
小計	120	94
昭和大学	2	2
北里大学	5	4
杏林大学	2	0
日本医科大学	3	3
順天堂大学	2	2
東京慈恵会医科大学	1	1
東邦大学	4	4
東京薬科大学	3	3
星薬科大学	4	4
明治薬科大学	1	1
麻布大学	2	2
小計	29	26
関西大学	1	0
立命館大学	1	0
小計	2	0
その他	50	32

合計		
大学名	総計	現役
国立合計	61	45
公立合計	6	6
文科省所管外合計	8	8
私立合計	815	666
総合合計	890	725
卒業生数		207

◎医学部・医学科の内訳

国公立大学		
大学名	総計	現役
東京大学	1	1
東京医科歯科大学	1	1
筑波大学	1	1
横浜市立大学	1	1
合計	4	4

私立大学		
大学名	総計	現役
慶應義塾大学	2	2
昭和大学	2	2
杏林大学	2	0
日本医科大学	3	3
順天堂大学	1	1
東京慈恵会医科大学	1	1
東邦大学	2	2
日本大学	2	1
帝京大学	5	2
国際医療福祉大学	1	1
東北医科薬科大学	1	1
岩手医科大学	1	1
愛知医科大学	1	0
合計	24	17

◎薬学部の内訳

国公立大学		
大学名	総計	現役
北海道大学	1	1
合計	1	1

私立大学		
大学名	総計	現役
慶應義塾大学	4	3
東京理科大学	3	1
北里大学	3	2
東京薬科大学	3	3
星薬科大学	4	4
帝京大学	1	1
明治薬科大学	1	1
横浜薬科大学	1	1
武蔵野大学	1	1
合計	21	17

◎海外大学

海外大学		
大学名	総計	現役
South Florida University	1	1
合計	1	1

Message from Principal

“Think & Share”は時代や空間を超えた理念です



学校長 山本 慈訓

私達の学園の教育理念“Think & Share”は、お釈迦様の言葉である「天上天下唯我独尊」を英訳したものです。有名な言葉ではありますが、残念なことに「自分勝手に独りよがりな人」を指すときによく使われています。しかし、本来の意味は「私には、私だけが持っているかけがえのない価値がある。それと同じように、私だけではなくすべての人々に、その人だけが持っているかけがえのない価値がある」ということなのです。

“Think”には、自らの「かけがえのない価値」を信じ、それを追究し、光り輝かせようという意味があります。そして、私達が大切にしている「明日をみつめて、今をひたすらに」という言葉には、世界がどんなに変化しても、あきらめや不安ばかりに囚われることなく、夢や目標に向かい一歩一歩着実に前進してほしいとの願いが込められているのです。

人はさまざまで、育ってきた環境、考え方や好みも違います。一人ひとりがそれぞれに「かけがえのない価値」を持っているのです。しかも、現代は地球的規模で人々が交流する時代です。だからここの社会は、その人々同士が、お互いを認め合い共生できる社会でなければなりません。それが“Share”に込められた思いです。

地球的規模で人類に課せられた問題は、ダイバーシティ(多様性)を認めるという考え方を抜きにしては解決が難しいものです。人種や宗教あるいは言葉が異なる人々とも共生していくためには、「違いを認め合って、思いやりの心を持つことが欠かせません。それは、地球的視野を持ち、地球的規模の問題に取り組める人間の育成を目指す、グローバル教育の原点とも言えるでしょう。

“Think & Share”には、健全な地球社会の建設に資する“人財”を、一人でも多く輩出したいという学園の願いが込められているのです。

受験生の皆さんへ

「今」という時間は、みんなに平等に与えられています。だから、将来の夢や目標をしっかりと持ち、目の前のことにひたすらに、果敢に挑戦しましょう。失敗を恐れてはいけません。何もしないことこそ真の失敗です。挑戦すれば、思い通りにいかなかったとしても、何かしらの「発見」があります。その積み重ねによって可能性は広がり、「かけがえのない価値」は光り輝いていくのです。自分を大切に、はつらつとたくましく、世田谷学園でたくさんの「挑戦」と「発見」をしてください。

入試概要

中学入試要項

特待生選抜20名

特待生選抜10名

	1次試験	算数特選	2次試験	3次試験
試験日	2月1日(月)午前	2月1日(月)午後	2月2日(火)	2月4日(木)
募集人員	60名	30名	80名	30名
出願期間	1月10日(日)～1月31日(日)	1月10日(日)～1月31日(日)	1月10日(日)～2月1日(月)	1月10日(日)～2月3日(水)
出願書類	入学願書(本学園ホームページの出願サイトからダウンロードいただけます) ■報告書・成績表は必要ありません。			
出願手続き	■インターネット出願のみ			
検定料	■1回出願 24,000円 ■2回同時出願 36,000円 ■3回同時出願 48,000円 ■算数特選 10,000円 検定料のお支払いには、クレジットカードやコンビニエンスストア、ペイジー(金融機関ATM)をご利用いただけます。なお、お支払いには別途手数料が発生いたします。			
選抜方法	1次～3次学力試験(300点満点)			算数特選
	算数	国語	社会	理科
	100点	100点	50点	50点
	60分	50分	30分	30分
				算数特選
				100点
				60分

■2021年中学入試について(インターネット出願のみ)

願書受付開始2021年1月10日 入力開始2020年12月20日以降
集合時間・合格発表等の日時は、入試要項(9月1日以降配布予定)・ホームページで告知いたします。

■帰国生優遇措置

海外帰国子女は、原則として「海外経験1年以上、帰国3年以内の者」としてはいますが、海外での生活された国や様々な事情によって、日本と学習環境が全く違い、受験勉強が思うようにできなかった背景があります。世田谷学園では、この点を考慮し、全試験日程において、加点する制度を、2019年入試より実施しています。海外での生活を経験された場合には、学園の広報担当者にご相談ください。なお、出願にあたっては、学園所定の海外滞在証明書を添付していただくこととなります。また、入学後は、特別の学習形態をとることはありません。

※6月2日現在の情報のため、変更の可能性があります。
 学園ホームページにてご確認ください。

INFORMATION

Web説明会

要事前予約

詳細は学園ホームページをご覧ください。

入試説明会

要事前予約

6年生対象		各回とも10:30~	
第1回	9月26日(土)	第6回	10月28日(水)
第2回	10月3日(土)	第7回	11月14日(土)
第3回	10月8日(木)	第8回	11月16日(月)
第4回	10月12日(月)	第9回	11月28日(土)
第5回	10月18日(日)	第10回	12月5日(土)
		入試直前	12月12日(土)

5年生以下対象		各回とも10:30~	
第1回	10月7日(水)		
第2回	10月17日(土)		
第3回	10月27日(火)		
第4回	11月21日(土)		
第5回	11月30日(月)		

※各回とも定員150名、内容は同じです。
 ※施設見学・授業見学があります。詳細は学園ホームページをご覧ください。

獅子児祭(学園祭)

申し込み不要

Web開催予定

詳細は学園ホームページをご覧ください。

ACCESS MAP



- 東急田園都市線・世田谷線/三軒茶屋駅 北口B 徒歩約10分
- 小田急線・京王井の頭線/下北沢駅 徒歩約25分
- 京王井の頭線/池ノ上駅 徒歩約20分
- バス/三宿停留所下車 徒歩約5分



世田谷学園 中学校
 高等学校
 SETAGAYA GAKUEN SCHOOL

〒154-0005 東京都世田谷区三宿 1-16-31 TEL.03-3411-8661 FAX.03-3487-9113

www.setagayagakuen.ac.jp/